

あんぜん あんしん
安全・安心な

けいたいでんわ つか かた
携帯電話の使い方

ただ つか かた まな
「正しい使い方とマナー」



まな
(1) 学ぼう

けいたいでんわ つか かた まな
『携帯電話の使い方とマナー』

(2) やってみよう

けいたいでんわ
『携帯電話でのやりとり

あいて きも かんが
～相手の気持ちを考えてみましょう～』

けんりつひろしまだいがく ねんせい
県立広島大学 4年生

ふじえ あや
藤江 彩

がくしゅう ないよう
【学習の内容】

まな
学ぼう

1. 携帯電話を使ってできること
2. 携帯電話を使うときのマナー
3. 犯罪にならないために
4. あやしいメールから自分を守りましょう



やってみよう

5. 相手の気持ちを考えて携帯電話を使いましょう

けいたいでんわ つか
1. 携帯電話を使ってできること

けいたいでんわ つか
★携帯電話を使ってどんなことができますか？

- 電話やメールをする
- 写真や動画を撮る
- 音楽やテレビを見る
- インターネットをする
- 位置を知らせる
- 買い物をする など

けいたいでんわ つか さまざま
★携帯電話を使って様々なことができますね！

けいたいでんわ つか
2. 携帯電話を使うときのマナー

けいたいでんわ つか き
★携帯電話を使うときどんなことに気をつけていますか？

けいたいでんわ べんり じゆう つか
携帯電話はとても便利なもので、自由に使うことができますね。

だからこそ、携帯電話を使うときには、気をつけなくてはならないこ

とがたくさんあります。周りに迷惑をかけないためにも、携帯電話を使

う場所や時間には注意するようにしましょう。

けいたいでんわ つか
★携帯電話を使うときの3つのマナー

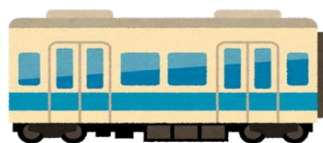
① つか ばしょ まも
使う場所を守る

どんなばしょでつかとめいわくになるでしょうか？

たと
(例えば)

でんしゃ ばす
* 電車やバスのなか

びょういん
* 病院のなか



② つか じかん まも
使う時間を守る

あいて かんが
相手のことを考えてかけるようにしましょう！

たと
(例えば)

しんや そうちよう
* 深夜や早朝

べんきよう しょくじちゆう
* 勉強や食事中



③ かめら つか かた ちゆうい
カメラの使い方に注意する

さつえいきんし ばしょ しゃしん と ほうりつ いはん
撮影禁止の場所で写真を撮ると法律違反になります。

たと
(例えば) * 人の写真

ほん ざっし きじ
* 本や雑誌の記事

びじゅつかん はくぶつかん えいがかん
* 美術館、博物館、映画館



3. 犯罪にならないために

★携帯電話の「ながら」の利用

たとえば、こんなお話があります…



Aさんは携帯で電話をしながら自転車で走っていました。
Aさんは、歩いていた子どもとぶつかり、大けがをさせてしまし
た。結局、Aさんは300万円の賠償金（相手に与えた損害を
お金などでつぐなうこと）払うことになってしまったのです。

携帯電話を使いながら、

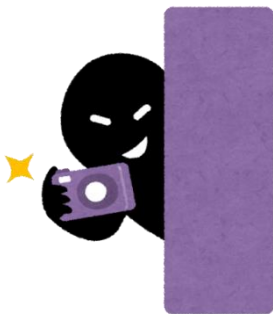
歩いたり、自転車に乗ったりしていませんか？

携帯電話のほうにばかり目が行ってしまい、

前を見ることができておらず、危ない目にあったり、

相手を傷つけてしまったりすることがあります。

★使い方によっては犯罪になることも



階段やエスカレーターなどで

携帯電話をしていると

盗撮や隠撮にまちがわれる場合もあります。

これはもちろん犯罪です。

4. あやしいメールから自分の身を守りましょう

携帯電話はなくてはならないものとなり、携帯電話があればなんでもできるようになりましたね。しかし、時には自分があぶない目



にあうこともあります。そのため、自分の身を守るためには気をつけることがあります。

★世の中には怪しいメールがたくさんあります。

こんなメールが来たことはありませんか？

- ✉ 架空請求メール (身に覚えのないような料金の請求)
- ✉ 芸能人のふりをしたメール
- ✉ 懸賞金当選のメール (応募した覚えのないメール)
- ✉ チェーンメール (転送するように押しつけるメール)

★自分の個人情報^{こじんじょうほう}が他の人^{ほか}にばれてしまうこともあります。

メールの添付ファイル^{てんぷふあいる}をダウンロードすると、ウイルスに感染^{かんせん}することがあります。また、有名な会社のサイトの真似^{まね}をして、銀行のカードやクレジットカードなど個人情報^{こじんじょうほう}を盗み取ろう




とする場合もあります。安易に信用しないように注意しましょう。

★あやしいメールが来たら次の3つのことを守りましょう！

(1) メールを開かない、無視をする

(2) クリックをしない、返信をしない

(3) 入力しない、信用しない



5. 相手の気持ちを考えて携帯電話を使いましょう

★あなたは友達にこんなメールをしていませんか？

- ①相手の悪口を書いたメール ②何度もしつこいメール
- ③強引なお誘いのメール ④相手をだますようなメール など

★メールは相手の顔が見えません！

相手をおどろかせるつもりが、

相手をきずつけてしまうこともあります。

えんしゅう
演習 (1)

「こんなメールが来たら、あなたはどのように思いますか？」

ぼいんと
【ポイント】

- メールを受けとった C 君はどんな気持ちになるでしょうか？

かんが
考えてみましょう！

こんなメールみたら、
Cくんきっとびっくり
するだろうな

よ～し、
Cくんを
おどろかせよう！

Bくん

〇月〇日 12:30
宛先 : Cくん < abcde@hijklmn.op >

みんなからきいたよ！
Cくんって 
ぼく、Cくんのことなんて嫌いだよ。
Bより

Q. Cくんはどんな気持ちがするのでしょうか？

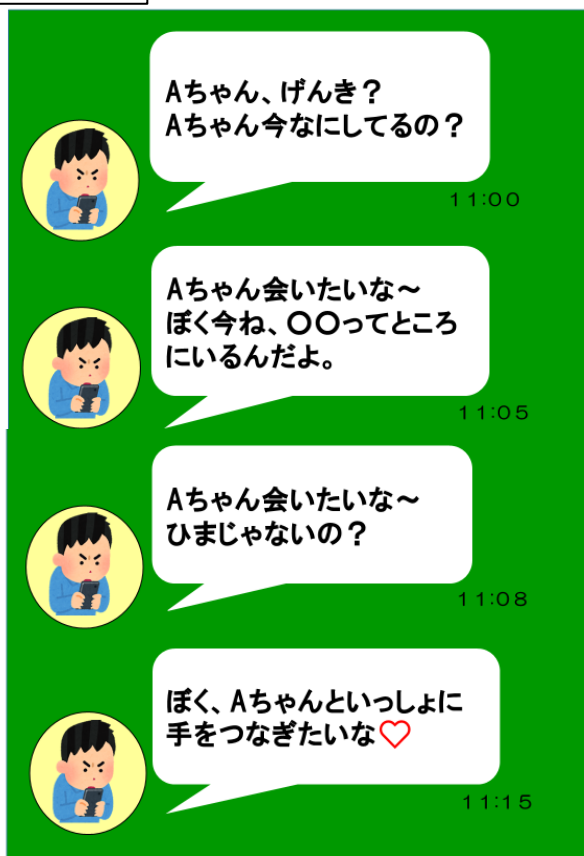
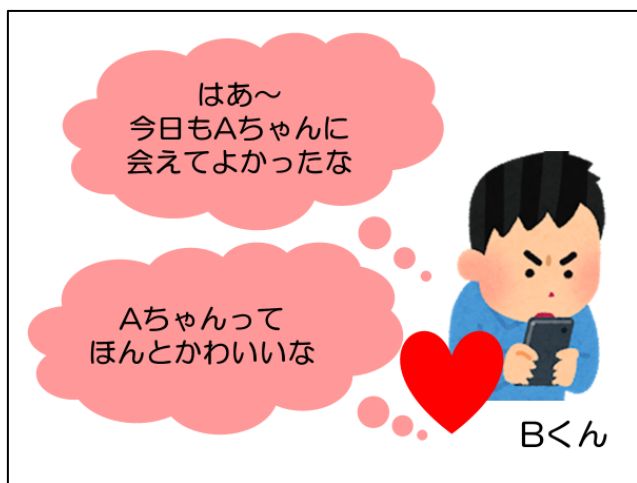


えんしゅう
演習 (2)

「こんなメールがきたら、あなたはどんな返信をしますか？」

ポイント

- 受け取った相手の気持ちを考えてみましょう！
- 自分の気持ちもしっかり伝えられるようにしましょう！



Q. Aちゃんはどんな気持ち^{きもち}がしますか？

Q. あなたが、もしAちゃんなら、

Cくん^{へんしん}にどんな返信をしますか？

お友達^{ともだち}の事^{こと}を好き^すになることが悪い^{わる}ことではありません。自分^{じぶん}にも気持ち^{きもち}があるように、相手^{あいて}にも気持ち^{きもち}があることを忘^{わす}れてはいけません。相手^{あいて}に自分^{じぶん}の気持ち^{きもち}を伝^{つた}えるときは、相手^{あいて}にも気持ち^{きもち}も考^{かんが}えることが必要^{ひつよう}です。



おたがいに^{きも}気持ちのよい^{めーる}メールや^{でんわ}電話をするように、
これからの生活でも^{せいかつ}意識^{いしき}してみてください。

^{けいたい}携帯電話を^{ただ}正しく^{つか}使い、^{たの}楽しい^{せいかつ}生活を送り^{おく}ましょう。



安全・安心な携帯電話の使い方 「正しい使い方とマナー」

講師 県立広島大学 4 年生 藤江 彩

1 『学んでほしいこと』

現代社会には情報やモノが溢れており、使い方を一歩間違えると取り返しがつかないことも多くあります。今日、携帯電話やスマートフォンは持っていることが当たり前の世の中になりました。携帯電話やスマートフォンがあれば、「いつ」「どこ」でも相手と連絡をとることができ、必要な情報は必要な時にスムーズに入手することもできるようになりました。このように便利である反面、相手の顔が見えないために、気をつけなければならないこともたくさんあります。そこで、今回講座では、安心・安全に生活していけるよう、携帯電話の正しい使い方と守るべきマナーについて取り上げます。

さらに、『集いの場あゆみ』の参加者同士での携帯電話でのちょっとしたトラブルをふまえ、相手の気持ちを考えたメールや電話のやり取りについて一緒に考えていきたいと思えます。参加者のなかには、返信をしていないのに頻りにメールを送ってしまったといった事例が実際にありました。電話やメールはコミュニケーション手段の一つであり、相手との信頼関係のもとで成り立ちます。演習を通して、相手を傷つけたり、迷惑をかけたりしないようにするにはどのようにすればいいのか考えていきます。また、もし相手に傷つけられたり迷惑をかけられたりしたら、自分ならどんな返事をするのか、対応策も一緒に考えていきたいと思えます。

2 『学びのポイント』

- (1) 携帯電話を使ってできることについて、自分が普段使っている場面を振り返って考えていきます。
- (2) 便利な携帯電話を使うときのマナーについて、具体例を挙げながら学んでいきます。
- (3) 犯罪にならないために、また犯罪に間違われられないために、どのようなことに注意する必要があるのか考えていきます。
- (4) あやしいメールから自分を守るために、知らない人からのメールや電話には「開かない」、「返信しない」、「信用しない」ということを確認して

いきます。

- (5) メールを送信、返信の際に注意することを考えます。メールは相手と直接会わなくてもすぐに自分の思いを伝えられる反面、使い方を誤ると相手を傷つけてしまうことがあります。相手の顔が見えないからこそ、メールのやりとりには注意が必要であることを学んでいただきます。そして、相手の気持ちを考えながら、同時に自分の気持ちもしっかり相手に伝えることの重要性を理解していただきます。

3 『支援のポイントとテキストの活用方法』(SP=Support Point)

講座

《SP1》支援者の配置

すべてにおいて問いかけをすることで、それぞれの項目にどのように対してどのように捉えているのかを把握しながら進めます。自分の日々の生活を振り返りながら、他者の意見を聞くことによって見解を広げていきます。また、難しい言葉はできるだけ分かり易い言葉に置き換えて説明をしていきます。ただし、普段の生活で出会うであろう言葉については、言葉の意味をくわしく説明するように心掛けます。学んだ知識やスキルを日々の生活に反映できるようにしていきます。

《SP2》テキストの進め方1

普段、どんな場面で携帯電話を利用しているのか、参加者それぞれの意見をしっかり聴いていきます。多様な意見を聴き、参加者全員で共有します。

《SP3》テキストの進め方2

携帯電話やスマートフォンを使うとき、日々の生活のなかで、自分なりにどんなことに気をつけているのか振り返る時間を設けます。こちらから一方的に注意点やマナーを提示するのではなく、まずは参加者自身がどんなことに気をつけているのかを把握していきます。

《SP4》テキストの進め方3

携帯電話を誤って使うと、犯罪になることを知ってもらいます。「犯罪」、「法律違反」など難しい言葉が多く出てきますが、その都度わかりやすく伝えるように工夫します。

《SP5》テキストの進め方4

個人情報保護について丁寧にわかりやすく伝えていきます。実際に、怪しいメールが来ていたり、知らない番号から電話がかかってきたりする場合にはどうすればいいか一緒に対策を考えていきます。

演習

《SP1》演習1「こんなメールが来たらあなたはどう思いますか？」

事例1では、B君はC君をおどろかせようと軽い気持ちでメールを送りますが、C君はB君がどんな気持ちで送ってきたのか分からず、傷ついてしまうという場面です。相手の表情や見えないからこそ、相手の気持ちを考えながらメールのやり取りをしなければならないことを伝えていきます。

《SP2》演習2「こんなメールが来たら、どんな返信をしますか？」

事例2では、Aちゃんのことが好きなB君は、Aちゃんに対して何通もメールを送ってしまうという場合です。「相手のことを好きになる」ということは決して悪いことではありません。しかし、相手も自分のことが好きかどうか分かりません。メールはコミュニケーションの一つですから、対話のもとに成り立つということをしっかりと確認できるように支援していきます。

4 『資料の紹介』

障害当事者へのテキスト活用のため、視覚整理を行うことを目的に、テキスト作成にあたって引用・参考にした文献を以下にまとめました。

○「見てわかる社会生活ガイド集」編集企画プロジェクト 編(2016),『知的障害・発達障害の人たちのための見てわかる社会生活ガイド集』, シアーズ教育新社, p105-107, p116.

OKDDI:「ケータイ ルール&マナーBOOK マナーと正しい使い方」,(オンライン), 入手先<media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/activity/anshin/kyoshitsu/book/pdf/anzen_text_01.pdf>, (参照 2019-1-6).

※本テキストで使用したイラスト

○「かわいいフリー素材集 いらすとや」,(オンライン), 入手先<<https://www.irasutoya.com/>> (参照 2019-2-8).

5 『講師の感想』

参加者された9割の方が携帯電話を持っており、またメールや電話だけではなくカメラ機能の利用や動画の閲覧など高度な使い方を実践されていることが分かりました。また参加者の多くが、迷惑メールを受信したことがあることに驚きました。だからこそ、携帯電話のあらゆる機能を正しく使えるようにする

ことだけでなく、間違った使い方を改め、対処方法を身につけてもらうことこそが大切であると感じました。

また、演習を通して皆さん一人ひとりの意見を聴いていったことで、色々な考え方、受け止め方があるのだと感じました。皆さんに出してもらった意見に正解や不正解があるのではなく、皆さんの数だけ答えがあるのだということを理解してもらえたことは良かったと思います。

今回、皆さんと一緒に自分たちの生活に身近な携帯電話やスマートフォンの使い方とマナーについて考えるなかで、皆さんの関心の高さや熱心さに感動しました。今回、お伝えしたことは皆さん一人ひとりの生活に置き換えてみると、ほんの一部に過ぎないのだろうと感じますが、また、わからないことや、失敗したことがあればその都度振り返り、改めていければいいのかなと思っています。そして、友人関係や職場での付き合い方に少しでも役に立てば何よりです。

今回は、貴重な機会をいただき、最後まで熱心に参加していただき本当にありがとうございました。